

大東文化大学経済学会（2021年度）

学生懸賞論文等募集要項

懸賞論文部門

大東文化大学経済学会では、毎年、経済学会の学生会員である本学部所属の学生を対象に「懸賞論文」等を募集しています。今年度は「懸賞論文」・「研究ノート」・「エッセイ」を募集します。それぞれの部門の募集要項をよく読み、奮ってご応募ください。なお、募集要項は「懸賞論文部門」と「研究ノート部門・エッセイ部門」の2つに分かれておりこの募集要項は「懸賞論文部門」について書かれていますので、ご注意ください。

§ 1. 執筆について

本年度は(1)経済学の有用性、(2)新型コロナと経済、(3)脱炭素への道——過去・現在・未来——、(4)自由テーマの4つのテーマを設けて募集します。どのテーマについても、自分自身で考えることが必要です。この懸賞論文の機会を通じて、皆さんの知的探求心をいかに発揮し、日頃の勉学の成果を形にしてみましょう。

募集テーマ

次の4つのテーマから1つを選択し、テーマに関する説明をよく読んで論述してください。

(1) 経済学の有用性

「経済学の中身なんて机上の空論でしょ？ 貧困も不況も世の中から全然なくならないし・・・」このような声が聞こえてきそうですが、本当にそうなのでしょうか。またもしそれが正しいのであれば、なぜ経済学部が日本中の大学にあり、多くの学生がそこで経済学を学んでいるのでしょうか。

経済学の成果が直接的、または間接的に世の中で活用されている場面は少なくありません。また皆さん自身が何かを決めるときにも、経済学の考え方が何かのヒントを与えてくれているかもしれません。現実の社会と経済学との結びつきを思い浮かべながら、経済学を毎日勉強している皆さんの視点から「経済学が世の中でどのように役に立つか」をぜひ考えてみてください。

(2) 新型コロナと経済

新型コロナウイルスの感染拡大により私たちの生活は一変しました。これまで当たり前のように通勤や通学をし、対面で行っていたことが、リモートワークやオンライン授業にとって変わられるようになりました。これにともない、経済の分野においても、対面型サービスを行う飲食業や旅客運送業などが売上を減らす一方、情報通信業といったIT系の分野が売上を伸ばすなど、産業ごとの勝ち組、負け組が鮮明になってきています。失業や格差拡大、オンライン活動の普及など新型コロナと経済の関係について自由に論じてみてください。

(3) 脱炭素への道——過去・現在・未来——

世界経済は急速に発展し、ここ50年でその規模は7倍以上に拡大しました。しかし、急速な経済成長による大量生産・大量消費・大量廃棄がもたらす環境破壊が深刻となっています。実際に世界中で環境規制を強化する動きがあるなか、今年4月に日本は2030年度までに温室効果ガスを46%削減する目標を設定しました。この目標を達成するためには、エネルギーの供給構成の改革や、

国内の産業構造の転換などが必要であるとされています。このような脱炭素に向けた試みの中で、これから日本の企業や社会がどのように変化していくのか、消費者にはどのような影響があるのかについて、過去・現在・未来の視点から自由に論じてください。

(4) 自由テーマ（ただし、経済および経済学に関連するものに限る）

皆さんが普段から抱いている知的関心や好奇心が上記の1～3のテーマに含まれない場合、こちらを選択して論述してください。経済および経済学に関連していれば、理論、歴史、制度、思想、統計、海外事情など、テーマは自由です。研究動機、問題の立て方、議論の進め方、すべてについて皆さんの論理的思考力と分析力が問われます。学生ならではの視点や問題意識を是非、発表してください。

応募規定

- 応募資格者は大東文化大学経済学部在籍する全ての学生です。
- 応募論文は未発表かつ日本語で書かれたものに限ります。
- 応募資格者の共著（2人以上の執筆）も認めます。共著の場合は、各執筆者の論文に対する貢献部分（担当）を別紙に記して提出してください（可能な範囲で構いません）。
- 論文は、ワープロソフトで入力の上、8,000字以上12,000字以内に収めてください。概ね40字×36行で、6～8ページ強の長さになります。
- 二重投稿（同じ論文を他の論文コンテスト等に重複して応募すること）は禁止します。
- 経済学演習成果発表会での発表テーマと同一テーマの論文も受け付けます。ただし、前年度までの成果発表会において発表した内容を論文にして提出する場合は、審査員から受けたコメントやアドバイスをもとに改善・応用・発展された内容のものに限ります。その場合、成果発表会での発表内容と論文の違いを別紙に記して提出してください。

論文の体裁

規定の投稿用フォーマットを使用してください。

1. 表紙にタイトルと執筆者全員の学科・学年・所属を、必ず明記するようにしてください。所属には、所属するゼミ（ここでは基礎演習・一般演習・専門演習・卒業研究を指します）を記入してください。1年生は基礎演習クラスの担当教員名を「基礎演習〇〇先生クラス」のように、ゼミに所属していない場合には「所属なし」と記入してください。
2. 本文の冒頭に目次を付けてください。また本文には、必ずページ数を打ってください。
3. データ図表は本文中に入れてください。ただし、字数には換算しません。
4. 書籍や新聞等の文献から引用及び発想を転用した場合は、それらを明記してください（表記方法については別紙参照）。また、ホームページ上の資料を利用した場合は、参照したページをPDF化したものを論文とあわせて提出してください。
5. タイトルの後に総文字数を入れてください（タイトル・目次・文献リストは除く）。

§ 2. 応募方法等について

応募締切日・掲載可否・審査

- ・ 応募締切日
2021年11月9日（火）17時
- ・ 掲載可否
一定の水準にあると認められた論文は『学生懸賞論文集』に掲載されます。『学生懸賞論文集』への掲載可否は編集委員会で審議・決定します。
- ・ 審査
編集委員会が審査します。表彰・賞金は以下のとおりです。
 - 経済学会賞（1件以内）副賞（賞金10万円）
 - 優秀賞（2件以内）副賞（賞金5万円）
 - 佳作（4件以内）副賞（賞金3万円）
 - 一年生奨励賞（2件以内）副賞（賞金2万円）また、入賞者以外で応募規定を満たし、編集委員会が一定の水準を満たしたと認めた論文全てに、参加賞（副賞5千円）が与えられます。

応募先・問い合わせ先・その他

1. 応募先
 - ・ 執筆した論文は、Wordファイルで提出してください。
 - ・ このファイル名は、論文のタイトルにしてください。
 - ・ 提出は、下記のURLからGoogleフォームを通じて行ってください。
論文部門応募フォーム：<https://forms.gle/BKehuQ7mUBEkQiRJ6>

注：各部門によって応募フォームが異なりますので、自身の応募する部門のフォームから応募するようにしてください。また、提出者にはGoogleフォームから受信確認のメールが届きますので、このメールで提出を確認するようにしてください。
2. 問い合わせ先
 - ・ 経済学会編集委員 大浦 あすか (oura@ic.daito.ac.jp)
3. その他
 - ・ 編集委員会の判断により、入賞者の所属・氏名を公表することがあります。
 - ・ 応募にかかわる個人情報は本コンテスト以外の目的では使用しません。

以上